

2023年5月9日発行

23-19号

（http://www.jremnant.com/）

現場から（最近のニュースから）

**デマに踊らされる**

　アメリカの銀行が破綻するニュースが聞こえて来ます。それに関して、うわさが急速に広まるときの危険性について、５月９日付の天声人語に書いてありました。天声人語では、まず、日本で実際にあった豊川信用金庫事件について説明してありました。1973年（昭和48年）12月、愛知県宝飯郡小坂井町（現・豊川市）を中心に「豊川信用金庫が倒産する」というデマが流れたことから取り付け騒ぎが発生し、短期間（二週間弱）で約14億円もの預貯金が引き出された事件がありました。その事件は、最初、女子学生２人が、信用金庫に就職が決まった友達に、冗談で「信用金庫は危ないよ」と言ったことが、次々に広がり、伝言ゲームのようになって、どんどん内容が深刻化されたというものです。デマがパニックを引き起こすまでの詳細な過程が解明された珍しい事例であるため、心理学や社会学の教材として取り上げられることがあるそうです。

最近のアメリカの銀行が破綻では、「デジタル・バンク・ラン」という、デジタル上の取り付け騒ぎという言葉が使われているそうです。発端となったシリコンバレーバンクでは、経営が危ういといったＳＮＳの投稿が一気に広まり、預金の流出に拍車がかかり、引き出すのもネットなので、ある１日だけで５兆円超が下ろされたそうです。拡散のスピードや規模がかつてとは比べようもない時代になったと、天声人語には書いてあります。過去にあった豊川信用金庫事件では、経営に不審点があれば説明すると、当時、豊川信金が貼り紙をしたそうですが、かかってきた電話の主は「倒産の説明会をやっていると聞いた」ということで、一度染みついてしまった見方を改めるのは、かくも難しいと、文章は結んであります。（５月９日朝日新聞天声人語＜米銀行の相次ぐ破綻＞より）

　豊川信用金庫事件は、研究材料となっていて、原因としては、時代の背景が不安にさせることがある場合、また、似たような事件が起こっている場合、人々は、デマか真実かどうか判別するのが難しくなり、とりあえず、行動しておこうとなりがちだと言われています。たしかに、トイレットペーパーの買いだめ事件などを見ても、とりあえず、自分が安心できる対策を取っておこうとして、騒ぎが大きくなるのでしょう。

　ただし、このようになるのは、時代の背景のせいでも、なにかのせいでもありません。すべての人の中に、本人も分からないけれど「不安」があり、その「不安」がなにかの出来事や話によって刺激されたとき、抑えられなくなる力が働くから起こるのです。。その不安は、すべての人にあります。すべての人は、自分が良いと思うことを求め、自分に関係することが良いと思うように動くことを願っています。それも、心の中の不安に基づくことです。それがうまくいかなかったりすると、心に傷のようになって残り、そこが刺激されると、また不安が湧きあがります。いったいその不安は、どこから来ているのでしょうか。そして、そこに働く力とは、何なのでしょうか。また、どうしたら、そのような不安ではなく、安心と安らぎが持てるのでしょうか。そのことについて、お伝えしたいことがあるのです。

救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。

それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。

神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス･キリストです。イエス･キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してくださり(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス･キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス･キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス･キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを

認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の

神様として受け入れます。私の罪を赦してくださり、私を救ってくださったことを感謝

いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・

キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください